令和７年度吉川市農業集落排水事業会計決算概要

１　業務量

区　分	Ｒ７年度	Ｒ６年度	比較	
			増減	増減率
水洗化世帯数	136 世帯	135 世帯	１世帯	0.7%
年間総排水量	31,937 ㎥	33,648 ㎥	△ 1,711 ㎥	△ 5.1%
１日平均排水量	87 ㎥	92 ㎥	△ ５㎥	△ 5.4%

主な建設改良事業　　（単位：円）

区　分	Ｒ７年度	R6 年度	比較	
			増減	増減率
管渠事業	998,250	206,250	792,000	384.0%
処理施設事業	286,000	0	286,000	皆増

令和７年度の業務量は、

⑴ 水洗化世帯数は、１３６世帯で、前年度に比べ１世帯（0.7%）増加しました。

⑵ 年間総排水量は、31，937 ㎥で、前年度に比べ１，711 ㎥（△5.1%）減少しました。

⑶ １日平均排水量は、87 ㎥で、前年度に比べ５㎥（△5.4%）減少しました。

⑷ 主な建設改良事業につきましては、管渠事業で 99 万 8250 円で、前年度に比べ７９万 2000 円（384.0%）増額となりました。

また、処理施設事業は 28 万 6000 円で、前年度に比べ 28 万 6000 円（皆増）増額となりました。

２　収益的収入及び支出

(1) 収 益 的 収 入

（単位：円）

項目	Ｒ７年度	Ｒ６年度	対前年比較	
			増減	増減率(%)
１営業収益	5,261,960	5,371,520	△ 109,560	△ 2.0
農業集落排水使用料	5,261,960	5,371,520	△ 109,560	△ 2.0
２営業外収益	49,385,008	47,361,512	2,023,496	4.3
受取利息	45,452	18,334	27,118	147.9
他会計負担金	7,249,018	7,476,957	△ 227,939	△ 3.0
他会計補助金	22,327,000	19,986,000	2,341,000	11.7
長期前受金戻入	19,763,538	19,739,620	23,918	0.1
消費税及び地方消費税還付金	0	139,001	△ 139,001	皆減
雑収益	0	1,600	△ 1,600	皆減
３特別利益	3,764	3,632,667	△ 3,628,903	△ 99.9
過年度損益修正益	3,764	6,600	△ 2,836	△ 43.0
その他特別利益	0	3,626,067	△ 3,626,067	皆減
事業収益　計	54,650,732	56,365,699	△ 1,714,967	△ 3.0

農業集落排水事業収益は、５４６５万７３２円で、前年度に比べ１７１万４９６７円（△ 3.0%）減額となりました。

営　業　収　益　**・・前年度に比べて１０万９５６０円（△2.0%）減額**

【農業集落排水使用料】

農業集落排水使用料は、５２６万１９６０円で、前年度に比べ１０万９５６０円（△2.0%）の減額となりました。これは、水洗化人口が減少したことによるものです。

営　業　外　収　益　**・・前年度に比べて２０２万３４９６円（4.3%）増額**

営業外収益は、４９３８万５００８円で、前年度に比べ２０２万３４９６円（4.3%）増額となりました。主な要因は、他会計補助金が前年度と比べて、２３４万１０００円（11.7%）増加したことなどによるものです。

特　別　利　益　**・・前年度に比べて３６２万８９０３円（△９９.９%）減額**

特別利益は、３７６４円で、前年度に比べて３６２万８９０３円（△９９.９%）減額となりました。主な要因は、企業会計移行に伴い、その他特別利益に計上した令和５年度分消費税及び地方消費税還付金が３６２万６０６７円（皆減）減少したことによるものです。

(2) 収 益 的 支 出

（単位：円）

項目	Ｒ７年度	Ｒ６年度	対前年比較	
			金額	増減率(%)
１営業費用	51,020,301	48,590,323	2,429,978	5.0
管渠費	2,465,487	2,485,522	△ 20,035	△ 0.8
処理施設費	8,565,451	8,437,781	127,670	1.5
業務費	453,480	452,170	1,310	0.3
総務費	14,288,916	11,993,942	2,294,974	19.1
減価償却費	25,196,449	25,220,908	△ 24,459	△ 0.1
資産減耗費	50,518	0	50,518	皆増
２営業外費用	1,924,389	1,995,669	△ 71,280	△ 3.6
支払利息及び企業債取扱諸費	1,765,589	1,995,669	△ 230,080	△ 11.5
消費税及び地方消費税	158,800	0	158,800	皆増
３特別損失	77,000	3,513,679	△ 3,436,679	△ 97.8
過年度損益修正損	77,000	3,030,679	△ 2,953,679	△ 97.5
その他特別損失	0	483,000	△ 483,000	皆減
事業費用　計	53,021,690	54,099,671	△ 1,077,981	△ 2.0

農業集落排水事業費用は、５３０２万１６９０円で、前年度に比べ１０７万７９８１円（△ 2.0%）減額となりました。

営　業　費　用　**・・前年度に比べ２４２万９９７８円（5.0%）増額**

【管渠費】

管渠費は、２４６万５４８７円で、前年度に比べ２万３５円（△0.8%）減額となりました。主な要因は、動力費が２万５６１０円減少したことなどによるものです。

【処理施設費】

処理施設費は、８５６万５４５１円で、前年度に比べ１２万７６７０円（1.5%）増額となりました。主な要因は、動力費が１２万８４８０円増加したことなどによるものです。

【業務費】

業務費は、４５万３４８０円で、前年度と比べ１３１０円（0.3%）増額となりました。主な要因は、公金振込手数料等が１３１０円増加したことによるものです。

【総務費】

総務費は、１４２８万８９１６円で、前年度と比べ２２９万４９７４円（19.1％）増額となりました。主な要因は、農業集落排水事業経営戦略の改定に伴い、委託料が１９４万２４００円増加したことなどによるものです。

【減価償却費】

減価償却費は、２５１９万６４４９円で、前年度に比べ2万４４５９円（△0.1％）減額となりました。

【資産減耗費】

資産減耗費は、5万５１８円で、前年度に比べ５万５１８円（皆増）増額となりました。これは、放流ポンプ交換に伴い、除却費を計上したことによるものです。

営　業　外　費　用

営業外費用は、１９２万４３８９円で、前年度に比べ7万１２８０円（△3.6％）減額となりました。主な要因としては、支払利息及び企業債取扱諸費が２３万８０円減少した一方で、消費税及び地方消費税が１５万８８００円増加したことによるものです。

特　別　損　失

特別損失は、７万７０００円で、前年度に比べ３４３万６６７９円（△97.8％）減額となりました。主な要因としては、一般会計精算金の減少などにより過年度損益修正損が２９５万３６７９円（△97.5％）減少したことなどによるものです。

３　資本的収入及び支出

(1) 資 本 的 収 入

（単位　円）

項目	Ｒ７年度	Ｒ６年度	対前年比較	
			金額	増減率(%)
１他会計出資金	10,224,518	10,012,985	211,533	2.1
他会計出資金	10,224,518	10,012,985	211,533	2.1
２他会計負担金	1,284,250	206,250	1,078,000	522.7
他会計負担金	1,284,250	206,250	1,078,000	522.7
資本的収入　計	11,508,768	10,219,235	1,289,533	12.6

資本的収入は、１１５０万８７６８円で、前年度と比べ１２８万９５３３円（12.6％）増額となりました。

他会計出資金

他会計出資金は、１０２２万４５１８円で、前年度に比べ２１万１５３３円（2.1％）増額となりました。内容といたしましては、企業債償還金に対する一般会計からの出資金です。

他会計負担金

他会計負担金は、１２８万４２５０円で、前年度に比べ１０７万８０００円（522.7％）増額となりました。内容といたしましては、資本的支出における建設改良費に対する一般会計からの負担金です。

(2) 資 本 的 支 出

（単位:円）

	Ｒ７年度	Ｒ６年度	対前年比較	
			金額	増減率(%)
１建設改良費	1,284,250	206,250	1,078,000	522.7
管渠費	998,250	206,250	792,000	384.0
処理施設費	286,000	0	286,000	皆増
２企業債償還金	15,707,947	15,494,273	213,674	1.4
企業債償還金	15,707,947	15,494,273	213,674	1.4
資本的支出　計	16,992,197	15,700,523	1,291,674	8.2

資本的支出は、１６９９万２１９７円で、前年度に比べ１２９万１６７４円（8.2％）増額となりました。

建 設 改 良 費

建設改良費は、１２８万４２５０円で、前年度に比べ１０７万８０００円（522.7％）増額となりました。

【管渠費】

管渠費は、９９万８２５０円で、前年度に比べて７９万２０００円（384.0％）増額となりました。内容といたしましては、マンホールポンプ水位センサーの修繕です。

【処理施設費】

処理施設費は、２８万６０００円で、前年度に比べて２８万６０００円（皆増）増額となりました。内容といたしましては、放流ポンプの修繕です。

企 業 債 償 還 金

企業債償還金は、１５７０万７９４７円で、前年度に比べ２１万３６７４円（1.4％）増額となりました。

【補填財源】

資本的収入額が資本的支出額に不足する額５４８万３４２９円は、当年度分損益勘定留保資金５４８万３４２９円で補填しました。

４　主な事業

（１）　効率的な施設整備

★ 管渠事業

・マンホールポンプ水位センサー修繕（３か所）　　９９万８２５０円

★ 処理施設事業

・放流ポンプ修繕　　２８万６０００円

（２）効率的な経営

厳しい経営環境のもと、信頼される農業集落排水事業をめざすためには、安定した経営基盤の構築が不可欠であるため、効率的な事業運営の推進に努めます。

★事務の効率化（包括的業務委託の推進）

・管路施設維持管理業務委託　　１９２万２１３９円

・処理施設維持管理業務委託　　６８１万７８６１円

５　農業集落排水事業経営指標

項目	分析結果		指標説明
	当年度	前年度	
経常収支比率	103.2%	104.3%	当該年度において、料金収入等で維持管理費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す指標。
累積欠損金比率	217.4%	451.4%	営業活動で生じた損失を補てんできず、複数年にわたって累積した欠損金の状況を表す指標。０%であることが求められる。
流動比率	75.0%	66.7%	短期的な債務に対する支払能力を表す指標。
企業債残高対事業規模比率	2,410.9%	2,660.6%	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。
経費回収率	18.8%	21.5%	下水道使用料で回収すべき経費（汚水処理費）を、どの程度使用料で賄えているかを表した指標。
汚水処理原価	797.0 円	675.9 円	有収水量１㎥あたりの汚水処理に要した費用。
汚水処理単価比率	18.8%	21.5%	使用料単価と有収水量に基づく汚水処理単価とを対比した指標。利益を出すためには 100%以上である必要がある。
水洗化率（世帯）	64.8%	67.5%	処理区域内世帯のうち、実際に農業集落排水を接続して汚水処理している世帯の割合を表した指標。
水洗化率（人口）	78.1%	81.8%	処理区域内人口のうち、実際に農業集落排水を接続して汚水処理している人口の割合を表した指標。
有形固定資産減価償却率	8.2%	4.1%	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるか表す指標。
管渠老朽化率	0.0%	0.0%	法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表した指標。管渠の老朽化度合いを示している。吉川市においては法定耐用年数を超えた管渠はない。
管渠改善率	0.0%	0.0%	当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標。